

Green Sketch

グリーンスケッチ

No. 8
SUMMER 2000

- 中国植林ボランティア
- 植物に親しむ
- 花と緑のアドバイザー制度
- 花と緑のイベント情報
- 緑の愛護団体紹介

特集
住民参加でつくった
芝生広場
県立島見緑地



夢が

かなった



住民参加でつくった芝生広場 県立島見緑地

新潟市島見町の県立島見緑地の一角に住民参加でつくった芝生広場が完成しました。この芝生広場はサッカーの盛んな南浜地区の住民が3月から自ら主体となって芝張り作業を行い、作り上げたもので、夢を実現させた広場です。

「今まで土の広場であった島見緑地の一角を、子供たちが芝生の上でサッカーのできる広場にしたい」と、南浜地区の住民の方々が新潟土木事務所長宛てに陳情書を提出したことからこの芝生広場は始まりました。整備にあたっては可能な限り地域の住民で協力するとの強い要望により、芝生広場をつくる方向で決定しました。どの様に作業を進めていくか地元住民と公園設置者である新潟土木事務所、公園管理者の緑花センターで話し合いをした結果、芝生を根付かせる為、堆肥を撒きトラクターで地盤を耕運する作業と、実際に芝生を張っていく作業を住民参加で行うことになりました。

耕運の作業は、2月下旬のまだ寒さの厳しい中、南浜地区青少年育成協議会長の五十嵐さんのトラクターをお借りして地盤の耕運を行いました。芝張り作業については作業初日（3月12日）に



○うちあわせ状況
皆さんお忙しい中、時間をつくって出席していただきました。



○地盤の整地
まだ寒さの厳しい中、芝張り作業に間に合うよう、トラクターで耕運を行いました。



○芝張り作業初日
作業開始にあたりセレモニーを行いました。



○芝張りの講習会
セレモニーの後、芝張りの講習を行い実際に芝生を張ってみました。



○完成後の除草作業
敬和学園の1年生が全校労作として除草作業を行いました。



○芝生広場完成!!



○芝張り作業

主な参加団体

- ・南浜地区自治振興会
- ・南浜地区青少年育成協議会
- ・南浜地区三校PTA代表
- ・FC南浜（南浜小学校区サッカー少年団）
- ・太夫浜タツシヤーズ
（太夫浜小学校区サッカー少年団）
- ・南浜中学校サッカー部
- ・敬和学園サッカー部
- ・島見FC（社会人チーム）
- ・トマトクラブ（社会人チーム）



セレモニーを行い、協力していただく住民の方に芝張り作業の講習会を行いました。その後、芝張り作業を少しずつ進め、4月に無事、芝生広場を完成することができました。

また芝生広場完成後の維持管理についても住民参加で可能な限り協力して芝生を守っていくとのこと。5月22日(月)には敬和学園の1年生が「全校労作」として芝生広場の除草作業を行いました。

住民の熱い要望から始まり、住民協力で整備し、管理にも関わっていく、地域の住民のための公園。公園として理想的な形で整備された島見緑地の広場で、サッカーの練習をした小・中学生が未来のJリーガーとなる日が近いうちに来るともいれませぬ。

南浜地区自治振興会



新潟土木事務所、新潟県都市緑花センターと地域住民のボランティアで始めた島見緑地の芝張り作業が無事終了しました。心からお喜び申し上げます。同時に、新潟土木事務所並びに新潟県都市緑花センターはじめ関係各位のこれまでの尽力に対し感謝申し上げます。

FC南浜

ほくは、芝はりをやっていたいこんな茶色い芝が青くなるのかなあと思いました。

芝はりをやっていたいめんどくさいことがありましたが、なんとが、くじけずやってきました。芝はりが終わり、次の週芝を見たら、太陽に照らされて青々と光っていました。自分たちで作りました場所です。

（キャプテン） 有田真人

大丈浜タツシヤーズ



ほくは、芝を植えるのは、こんなに大変なんだなとは、思いませんでした。なんでかと言うと、一枚、一枚、ていねいに芝を、ならべなければならぬからです。その上から砂をかけます。それで終わりです。ほくたちが植えた、芝ではやく、サッカーの試合がしたいです。

（キャプテン） 田中 純

南浜中学校サッカー部



僕達南浜中サッカー部は、3学期から春休みにかけて島見緑地の芝はりをしました。芝も人間と同じで成長するので、きちんと幅をあげながらはっていきました。地域の方々の協力もあり、まさに一丸となったの芝はりでした。

この場所でサッカーやイベントができるのを、部員全員が楽しみにしています。

（キャプテン） 本間俊人

敬和学園サッカー部



学校の近くに芝生のグラウンドが出来ると知り、そこをサッカーをやりたいと思いました。早く完成しないかと待っていたら、自分たちが造ると聞き驚きました。どうやって造るのか不思議に思いました。最初は染め仕事だと思っていたら、芝を運んでグラウンドに貼ったり、砂を一輪車で運んだり大変でした。完成したら、自分たちが造ったと自慢したいです。

（片山暢道）

社会人チーム（島見FC・トマトクラブ）

我がチームは、9割以上が南浜地区出身者で気の知れた仲間が結成されており、県社会人リーグ2部にて皆でサッカーを楽しんでいます。

現在のチームの悩みは、試合会場が十日町や上越が始まりのため、移動時間がかり、移動中の事故等が起きないか心配しています。

そんな中で、南浜地区に新たにグラウンドが出来たことにより、悩みが解消されることを期待したいと思います。

初めて芝張りをやり、緑を作ることや、森林を自然に近いまま残すことが大変なことが少し分かったと、自分達は、思いました。地元の子供達やその周辺の方々と触れ合い、とても懐かしい思いがしました。私達の子供の時も、やはりサッカーになりいっつもボールを追いかけました。プレーするには、やはり良いグラウンド、そして、周りの環境がとても大事だと思います。そんな芝の上でプレーの方々は、少しでも喜びを感じるのではないのでしょうか。

（トマトクラブ）
代表者：伊藤勝敏



ボランテアで広がる人との交流 中国植林ボランテア

中国・内モンゴル自治区の砂漠で植林活動を体験された新潟市在住 島岡誠さんにお話を伺いました。

3 年前よりボランテアを始めたという島岡さん。NPO法人「NVO・チューリップ」のメンバーでもあり、昨年、NGO組織「地球緑化センター」が主催する「緑の親善大使」として中国植林ボランテア活動を体験してきました。

林活動では、現地の大学生や住民とともに、砂漠に2日半で約3000本の苗木を植えていくというもの。植林活動では、

植

「砂漠で吹く風によって砂が飛び、作業が中断したことは苦勞しました」と島岡さんは話します。また、植林の後の水やりも大変な作業だそうです。日本からのボランテアが帰国した後は、中国の人たちに水やりを頼んでいるそうですが、中国の現地では、ボランテア活動というのはまだ根づいていない状態とのこと。そこで、現地の人に水やりを仕事として委託しているのだそうです。

ボ ランテアでは、植林と同様「現地の人たちとの交流」が印象深かったといいます。「ボランテアを通じて集まった多くの人たちとの交流が最大の魅力」と語ります。「人のために行っているようであるボランテアは、自分のためでもありません。自分が楽しみ満足出来るのが長く続けるコツです。」

現 在「NVO・チューリップ」の活動は、残念ながら休止状態といえます。しかし今は「中高齢者協同連合」という組織で、山林ボランテアとしても活動。

ここでは、杉林の間伐材を活用してベンチやテーブルを主に作っているそうです。こちらでも、やはり「多くの様々な人との交流が楽しみ」と言います。



後は、「インターネット等を使ってボランテアのネットワークを進めたい」とのこと。「二人では出来ないことでもお互いに協力し合ってこそ何か出来る」という気持ちから始めたボランテア。「今では、様々な国同士との交流が行われています。日本も他の国に助けられている面も多くあります。それを何かお返ししたい。それが、ボランテアという形になったのです。」

今

＊NGO組織「地球緑化センター」
・緑の親善大使：中国植林ボランテア
年間約20万ヘクタールが砂漠化しているといわれる中国大地の再生を目的として、1993年4月よりスタートした植林活動。7年を経過し、参加者も延べ1000名を超え、10代から70代までさまざまな方達が全国から参加している。

＊島岡 誠さんプロフィール
・昭和7年北海道に生まれる。
・昭和23年17歳で新潟へ。
・昭和24年繊維会社に就職。退職後、昭和31年独立自営法人設立。
・退職後、平成10年4月よりボランテアとして活動。「NVO・チューリップ」のメンバーとなり中国植林ボランテアに参加。現在「中高齢者協同連合」にて活動中。



おいしい古人の知恵 よもぎの効用



草もちの材料として有名なよもぎ。食材として広く使われていますが、薬の代わりとしても大活躍しています。

冷え性や腹痛などの症状の緩和や止血用にご利用されています。また、葉の裏にある白い綿毛はお灸で使うもぐさの材料となります。

なじみのあるよもぎ

よもぎはキク科の多年草。山野、道端、草むら等至る所に生えているなじみ深い植物です。

夏から秋にかけて小さな淡褐色の花をつけます。

モチグサ、チドメグサ等とも言われますが、よもぎが様々な利用の仕方をされることの表れでしょう。

よもぎの効能

よもぎには身体にとって優れた効果をもたらす成分が含まれています。血液循環や脂肪分解などに影響を与え、婦人病、皮膚病、神経痛などの治療に役立つといわれています。

様々なよもぎの働きの中から、いくつか紹介します。

○止血や打ち身には、生の葉を揉み、絞った汁をつけると効き目があります。

○食あたり・冷え症・喘息・婦人病・関節痛・神経痛などの改善には、乾燥葉を10グラムほど煎じて飲む方法があります。

また、よもぎには余分な脂肪を分解し排出する効果もあります。

○神経痛・皮膚病・冷え症の方は、葉を湯船に入れて下さい。血行が促進されて身体が温まり、肌もなめらかになります。

*体力が低下している時、身体のほてりを感じる時は使用しないほうがよいでしょう。

よもぎ料理のこころ

○よもぎもち (約10個分)

【よもぎの下準備】

①よもぎは新芽であれば4〜5cmに伸びた部分を、大きなものは柔らかい葉だけを使います。

②水洗いし熱湯でサッと茹でます。

③茹であがったものを、冷水にさらした後絞ってみじん切りにし、すりつぶします。

【もちの作り方】

①上新粉2カップに熱湯を注ぎ、耳たぶくらいの硬さまでこねます。

②①を直径2cmの大きさに丸め、濡れたふきんを敷いた蒸し器に入れて強火で約15分蒸します。

③蒸し上がったものを2〜3分冷水につけ、水気を切ってすり鉢でよくつぶします。

④そこへ【よもぎの下準備③】を加え、よくこね合わせます。

⑤あんを包んで出来上がり。



※きな粉をかけるとより一層おいしく召し上がれます。

○食べ方いろいろ

【よもぎの下準備③】の冷水にさらしたものをごま和えにしたり、油炒めなどにしてもおいしく召し上がれます。

また、茹ですずに天ぷらにして色・香りを楽しむのも一つです。